

【樹木・草花の部屋】

ヒメリュウキンカ（キンポウゲ科/キンポウゲ属 Ranunculus ficaria ）

和名；ヒメリュウキンカ(姫立金花) **別名**；欧州金鳳花 **英名**；

キンポウゲ目 多年草

原産地；イギリス **花言葉**；あなたに会える幸せ、人見知り

花の色；黄、白



← 写真-1 ヒメリュウキンカ

撮影日：2013年4月1日

撮影場所：大和郡山市椿寿庵にて

撮影者：Mさん

椿寿庵にツバキの鑑賞に訪れた際、
花壇の一隅に可憐に咲いていました。

野草の仲間。山野の湿った草原や川
沿いの林床など湿り気のある場所に
自生。

原産地はイギリスですがヨーロッパからシベリアにかけて広く分布しているそうです。

写真-2 ヒメリュウキンカの花

⇒

撮影日：2013年4月1日

撮影場所：大和郡山市椿寿庵にて

撮影者：Mさん



リュウキンカの名を冠していますが、リュウキンカ属ではなく、キンポウゲ属の植物。

葉は暗緑色のハート形、春になると花茎を伸ばして表面に光沢のある3~4cmの黄色い花を次々と咲かせ、長いものでは1ヶ月ほど花を楽しむことができるそうです。花後は種ができ初夏には葉が枯れて地中に根茎を残して夏の間は休眠に入ります。春に次々と咲く黄色の6~8枚の花弁は萼花弁。

基本は黄色の一重咲きですが、白花、バイカラー(二色)、八重咲きなど個体変異も多く、葉の形や斑入りなど葉の模様にも変化があり、多くの品種が生産され流通しているそうです。非常に丈夫な植物であることも含め、世界中の愛好家に親しまれている花だそうです。

【樹木・草花の部屋】

<ちょっと一言 >

球根や鉢花として出回っているラナンキュラスとは同属の仲間、というかヒメリュウキンカもラナンキュラスの一種です。

日本に自生しているリュウキンカは同じキンポウゲ科ですが属が違います。また、キンリュウカという植物も存在しますがこちらは東南アジアに分布するキョウチクトウ科ストロファンツス属の花木で全く関係ないそうです。